

授業科目名[英語名]							
経営管理入門[Introduction to Business Management]							
担当教員名[連絡先(TEL,研究室など)]							
宮廻甫允[285-7604(内線7604)]							
E-Mail	miyasako@leh.kagoshima-u.ac.jp		受講対象	全			
課程区分	共通教育	学科/科目・分野等	教養 2 分野	開講期	後期水曜 1	単位等	2
共同担当教員名							
石原田秀一(特任助教)							
教育目標のキーワード							
視野・判断力・探求能力/専門基礎能力							
学習目標(学生の達成 目標)							
<p>1) 企業の経営には、経営管理システム(組織を動かす仕組み)が必要であることを理解する。  2) 経営管理システムは、経営哲学(フィロソフィ)に支えられて効果的・効率的に機能することを理解する。  3) アメーバ経営は、なぜ企業を強くすることができるのかについて考える。</p>							
授業概要(目的・内容・方法)							
<p>企業組織を小規模の独立採算組織(アメーバ)に切り分け、効果的・効率的な企業経営を実現したアメーバ経営について取り上げる。アメーバ経営は、採算管理のための「時間当り採算表」、採算計算の基準となる京セラ会計原則、そしてこれらを支えるフィロソフィからなっている。アメーバ経営の組織を動かす仕組みとともに、その本質をなすフィロソフィについて考えることとしたい。</p>							
授業計画(15回に分けて、回数、日付、授業内容、授業外活動など)							
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス</li> <li>2. 経営管理の生成</li> <li>3. 経営管理の発展</li> <li>4. 経営管理システムー組織を動かす仕組み</li> <li>5. アメーバ経営の誕生と三つの目的</li> <li>6. リーダーに必要なフィロソフィ</li> <li>7. アメーバの組織づくり</li> <li>8. 「時間当り採算表」</li> <li>9. 京セラ会計原則</li> <li>10. 収入のとらえ方</li> <li>11. 経費のとらえ方</li> <li>12. アメーバの採算管理</li> <li>13. アメーバ経営を支えるフィロソフィ</li> <li>14. アメーバ経営とリーダーの育成</li> <li>15. まとめ</li> </ol>							
受講要件	企業の経営に関心をもっていること。						
評価基準および方法	期末試験による。						
教科書	稲盛和夫『アメーバ経営』日本経済新聞出版社、2006年		参考書	稲盛和夫『実学・経営問答 人を生かす』日本経済新聞出版社、2008年			
授業時間外対応(オフィスアワー、授業後、学習シートなど)	【オフィスアワー】毎週木曜日午前中【メール】【授業後】		その他	受講者を30名に制限する。			